

おお大勝利

令和5年度 山東サッカー一部報第6号 (8月24日)

サッカー一部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

前号が県総体第1ラウンド後の5月31日発行でしたので、約3か月発行をサボったことになる。記憶をたどりながら、まず①3年生チームで臨んだ6月11日・18日、7月1日・9日の県リーグ4節分の報告から行き、②7月13日の3年生引退式の報告、③新チームで臨んだ7月15日・17日の県リーグの報告、そして④夏の合宿と遠征の報告を経て、最後に⑤夏休み後の8月19日県リーグの報告をしたいと思います。

県総体後の3年チームでの県リーグ

県総体ではY1のチームとPK合戦まで行った惜しい戦いをしたので、勝てはしなかったが、一定の達成感があったであろう**3年主将ヤマト**率いるこのチーム。例年リーグ戦1巡までは引退せず試合する伝統の山東、**6月11日(日)Y2B第5節酒田南戦、6月18日(日)第6節慍山戦、7月1日(土)第7節酒田東戦**までで一区切り(一巡終了)。ただ、どういう区切りか、**7月9日(日)第8節山形中央B戦**まで引退せず戦うとの方針のよう。短くなるのは反対するが、自分たちで長くやろうとするのは顧問として止める理由がない。

さて、**酒南戦**、会場は酒田市飯森山。天然芝の会場で、選手権では毎年準々決勝の会場ともなっているすばらしい会場。試合が始まると、山東押され気味ではあるが、試合の入りは失点を堪えた。すると前半21分相手のビルドアップをとがめ、**山東先制に成功**。そしてすぐの27分、PA内で相手にハンドの反則が与えられ、**山東PKゲット**。そして、**2対0**とする。試合内容を全く反映しないスコアに望外の喜びはあるが、まったく油断できない試合展開に安心感は湧かない。ちなみに、このハンドの反則ですが、手を意図的に大きさに使用したわけではないので(体の近くにある手に不可抗力で当たっただけなので)、ハンドの判定は酒南に厳しすぎると思われた。山東としてはラッキーだが、後味の悪さは否めない。酒南にはボールを奪われないスキルに長けた選手が複数いて、運任せの山東と違い「しっかりサッカーしている」ので、普通にやれば山東の勝ちの可能性は低いのだが、これはラッキーな勝ちもあるのか、など多少期待してしまいました。が、その後、**前半のうちに1点返され、後半は31分、34分、38分、42分と後半の後半立て続けに失点し、終わってみれば2対5の大敗**。スピードのある山東のアタッカーも簡単にボールロストを繰り返して、守備陣を休ませる時間を全く作れなかった。

次は**慍山戦**。これまでのY2Bの結果から、降格争いは、勝ち点ゼロの酒東、勝ち点1の山東、勝ち点3の慍山という3チームに実質絞られている。残念ではあるが、**降格しないためには天王山となる戦い**。慍山には、去年の地区新人で痛恨の敗戦を喫した。今年の地区総体では、その借りを返そうと山東は気合が入った戦いをし、確か4対1で勝っている。ただ、県リーグはまた別の戦いになるだろう。会場は山形明正。試合が始まると一進一退。慍山はスキルがあり球際も戦える主将を最終ラインで起用し、下から丁寧に構築しようとする作戦。対する山東は、パワーとスピードのある前線を早めに使う作戦(に結局行きつく)。どんな得点だったかわからないが、前半11分に「**タイセーの弟**」**1年タケハ**

ルが先制。確か CK かセンターリングといったアウトサイドからの攻撃のこぼれ球を押し込んだ得点だったような。しかし、前半のうちに惺山に返され同点にされるも、前半終了間際、**2年ショージ**のスピードが爆発し、追加点ゲット。後半は、手厚く攻めようとする惺山とカウンターを狙う山東という展開。こうなると、山東のやることははっきりして、実は守りやすくなる。惺山の攻めを何とかいなして、**2対1の待望のリーグ戦初勝利**。天王山を制する。

惺山戦を制しても、次の**酒東戦**を落とせば何にもならない。3年生が引退した酒東との対戦。会場は酒田の光ヶ丘球技場。前半から山東押し気味に試合を進める。さすがに新人チームには貫録を示したいところ。数多くの得点が欲しかったが、**前半2対0**で折り返す。**3年生を全員起用する作戦**でいたが、得点が少なすぎる。イージーミスで、得点を逸すること多い。でもこれって、やはり実力。**(相手か自陣かは問わず)ゴール前強いチームが力のあるチーム**。サッカーは結局点を入れるか否かのゲームなので、「中盤を制して優勢勝ち」何というものはない。後半3点目を追加し、ようやく余裕ができてきたと思ったその2分後、山東の凡ミスから失点。しかし、途中出場の**2年ケンヤ**が気を吐き、4点目を入れ、4対1になる。ここで、これまで出場の少なかった3年4選手を投入。**悪魔の左足とは俺のことサカイ、馬術で鍛えた足腰をサッカーに活かしたヨシモト、左右どちらも蹴れた稀有な選手サノ、そして、声と予想を超えた得点でこれまで幾たびか山東の攻撃を活性化してきたカルロスことトシキ**。さあ、攻撃的な選手の投入でどのように相手ゴールに迫るのか、楽しみではあった。が！ 試合はその後暗転。守備陣の立て続けのイージーミスにより、その後2失点し、3年生の戦いぶりを楽しみ余裕はどこへやら、**4対3で勝利するのでやっ**と。こちらは3年生チームだし、もうちょっと楽に勝てると油断した監督の采配ミスが響いた。ともかく、勝ち点3は得た、というだけの試合。

さあ、3年生最後の戦いは**山形中央B戦**。会場は山形明正。試合開始すぐに与えたCKを大裏(ファーポストよりもさらにファーの位置)から決められ、開始4分に失点。ヘディングもさることながら、そこに正確に配球する相手がさすが。対して、山東はFPもGKもそのケアができなかった(フリーにさせてしまった)。しかし、前半34分、どんな形からだったか忘れましたが同点とし、粘る。後半、開始間もなく、酒南戦と同じような、手を大きく使ったわけでもない不可抗力の当たりをハンドと判定されてしまい、酒南戦とは逆にPKを与えてしまう。そして、1対2。しかし、最後の戦い、諦めるわけにはいかない。守備陣も集中して良く守っていたが・・・後半12分FKで山東の守備ラインの頭越しのボールに対して、FPもGKも反応(対応)できず、ファーサイドから走ってきた相手選手をフリーにさせてしまい、追加点を許す。その後、失点せず粘りの戦いを見せたが、相手ゴールは遠かった。最後、3年間で最も伸びた選手サカイが投入され、悪魔の左足に期待を持たせたが、そのまま**1対3の敗戦**。最後の戦いを勝利で飾ることができなかったが、**真面目さ、自主性、仲の良さを持ち合わせたヤマトの学年の姿は後輩の良き見本となった**。本当にお疲れ様、入学当初のひ弱な状態から良く成長したな、という気持ちが湧き、感慨深い一日となりました。

3年引退式 . . .

7月20日(木)日を選んで3年生の引退式が3年4組教室にて行われました。**佐竹・高橋の両コーチ**も出席して下さりました。以下、後輩にかけられた3年生のコメントの抜粋を

掲載します。

ヨシモト

成長するためには、継続することと感謝すること。今更ながらその思いを深くし、感謝の気持ちでいっぱいだ。

クルミ

選手の成長を間近に見れて楽しかった。2年先輩の「マネのモチベーションは選手のモチベが決める」との言葉は全くその通り。マネに応援される選手になってほしい。

マゴロクことカイ

前向きな気持ちがプレーに表れる。自分は心を保つことに難しさを覚えた選手だったが、得意なプレー、自信のあるプレーがあれば前向きさは保たれるのではないかな。

コースケ

自分が苦手になっていることを放置しないでほしい。自分と向き合い、成長を求めてほしい。大切な思い出ありがとう。

マサツナ

3年間サッカーできて楽しかった。上手くなれた実感もある。最終的に自分に一番合ったポジションに巡り合ったが、様々やってみて初めて適性がわかった。

サノ

途中入部時自分の低レベルに自信を失ったが、山東でのトレーニングを通じて深い理解でサッカーを観ることができるようになった。うまくいかないことも良い経験だった。

ユージェン

入部してすぐ骨折、2年は分離症で離脱。故障前から体のケアを怠らず、故障しないで試合に臨みサッカーを楽しんでほしい。

リューキ

自分のやれることを持ち味にし、頑張るプレー、献身的なプレー、体を張ったプレーでアピールしようとした。戦えるプレーができると技術もついてくる。

サカイ

僕のダイエットに3年間付き合ってくれてありがとう（でも成果少なくゴメン）。頼れば助けてくれる環境で、サッカーを楽しみ、仲間を大切に。応援に行った時、今出られないでいる選手が自信をもって活躍する姿を楽しみにしている。

カルロスことトシキ

出場機会は少なかったが、出場したときにはマンオブザマッチを目指した。自分が活躍する瞬間を楽しんでほしい。副部長として、新副部長のダイキには期待している。

ヤマト

モチベーションは周りからの良い影響の中で維持できる。負けた時の振り返りをあいまいにしない。悔しさを継続して維持せよ。ポジションの変更を前向きにとらえることができたが、サッカーが好きだという思いにより自分を支えることができた。

新チーム始動！

7月15日(土)は新チーム初戦。3年生チームでも、攻撃に3年生は少なかったが守備にはGK含め3年生が多かったため、新チームの守備が不安材料。そう、3年生チームにGK・

DF で出場していた選手は **2年CBホスト** くらい。どうやってDFラインを形成するか頭の悩ませどころ。GKはそもそも **2年カイト** 一人しかいない。のちに **1年DFコーキ** をGKにコンバートしたものの、当時は実質一人体制。

相手は**米沢中央B**。強豪チームのBって、Aの層が厚く入り込めないものの活きの良い1・2年生がいて、手ごわい。米中Bはまさにそんな感じ。会場は明正。これまでMF、FWで出場する機会の多かった **2年ケンヤ** をDFにコンバートし、何とか米中の攻撃を食い止めたい。その他にも、**楯岡の星1年アヤヤことアヤト** や、「**利き足は頭**」**1年ハヤト** など、スタメン経験の少ない選手を起用。**身長189cmの大型FW1年リューヤ** もボランチにコンバートされ、先発。これまで先発経験のある「**トムとジェリー**」の**ジェリーの方セイスケ** と**モンテ村山出身の大型DFタケハル**¹の二人を合わせると、**1年生5人先発**。試合が始まると、スキルある中盤の選手と裏への飛び出しに力強さのあるCFの攻撃に手を焼く。前半12分に失点すると、後半開始直後にも失点。すぐ1点返すも、また失点、そしてまたすぐ返し、2対4。山東のスピードに乗った攻撃も、通用している部分もある。「ほお、新チームやるじゃないか、諦めず1点差を目指せ」などと思っていたが、その後3失点し、**結局2対6の大敗**。攻めはするものの、攻撃から守備への切り換えが遅く、相手の攻撃を高い位置で抑えることができない²。また、簡単にボールロストしてしまうので守備の時間が長くなり、ただでさえ体力が削られてしまう。若干の光明はあるものの、多難な船出でした。

その二日後、**7月17日(月)**早くも**天王山第二弾、惺山戦**を迎える。正直1度目の対戦から2度目まで期間が短いし、新人チームももう少し経験を積んでから惺山と当たりたかった。でも、そんなこと言ってもらえない。会場は今回も明正。試合が始まると、一進一退の時間を経つつ、前半12分**2年ショーゴ**の突破からこぼれ球を**2年ソータ**が課題の左足で合わせて、山東先制。内容的に山東が良かったわけではないが、**セイスケ**の個の力が発揮され、DF、GKも交わして追加点をねじ込む。前半まさか2対0で折り返す。しかし後半、やはりと言うべきか、後半5分、13分と立て続けに失点し、酒南戦の悪夢が頭をよぎる。しかし、ここから山東新人チームががんばった。相手と呼ばい込んでのカウンター攻撃がはまり、4得点。**結局6対2で山東の勝利**。「**スキルの差を得点の差にしない粘り強い戦い**」とは**山東の持ち味の一つ**だが³、上手な相手に武骨なチームが結果だけ持ち帰る山東らしい一戦となった。この天王山第2戦の勝ちは本当に大きなものでした。

夏を経て・・・

夏休みは、恒例の月山合宿と秋田遠征・・・と行きたいところでしたが、今年狙っていた日程がIHカヌー競技のため月山志津温泉に泊まられなかったため、月山合宿をあきらめ、**蔵王坊平での合宿**に切り換えた⁴。坊平は11月にも進学校大会で宿泊予定があり、2年生は

¹ 大型と書いたが、決してトムの方というわけではありません。

² ということは、毎回深い位置まで攻め込まれるし深い位置まで戻らなければならない。

³ しかし、この持ち味も強調しておきたい。「**フィジカルの差をスキルとアイデアで凌駕する**」。この持ち味は近年なくなりつつあり寂しいですが、決して忘れてはいけなと思っています。

⁴ 山東サッカー部は、44年前、夏の学校合宿にて熱中症で一人お亡くなりになるという痛ましい事故を経験しています。それを機に、夏合宿は、蔵王なり、月山なり、高地で行ってまいりました。山東サッカー部保有で現在でも利用しているテントは、その事故でお亡くなりになった丸子先輩のご家族から寄贈されたものです。

クロスカントリーコース含め利用経験がある。**8月3日(木)～5日(土)に蔵王坊平合宿**が行われました。「地上」は 35℃の熱中症の危険の非常に高い状況も、坊平の「天上」の気温は 25℃・・・夏合宿するには大変心地よい環境だった。実は監督の今野は合宿前日から高熱を発し、**佐竹コーチ・高橋コーチ・齋藤コーチの3名の外部コーチ**にお任せして休ませてもらった⁵。坊平の体育館にいる**佐々木トレーナー**の協力も得ながら、フィジカル的に追い込み、また、猿倉なども借りながらボールを使ったトレーニングもしてくれました。そうそう、二日目に高橋コーチとバトンタッチして齋藤コーチが現地入りしたのですが、齋藤コーチと一緒に（ともに宮城在住で齋藤コーチと仲の良い）**OBのホリゴメくん(63回卒)**も参加してくれて、三日目のトレーニングを見守ったとのこと。3人のコーチ、ホリゴメくん、そして、お力をお借りした佐々木トレーナー、ありがとうございました⁶。

最終日午後は、学校に帰ってきて、**山東サッカーフェスティバル(OB戦)**が開催された。これまた、**監督である私(43回卒)**が休んだので細かな状況わかりませんが、**横浜国立大学サッカー部でも活躍したマロンくん(65回卒)**が躍動し、自分で点数を入れるだけでなく、**35回卒の野口さんや36回卒の土田さんといったレジェンド世代**にもナイスボールを供給し、**レジェンドの得点を演出した**との話は聞きました。サッカーが終わったら、シーロムの肉団子スープを皆で食べたことでしょう。後援会の皆様、ありがとうございました。また、OBOGの皆様、来年も8月第一土曜日、宜しくお願い致します。

8月8日(火)～10日(木)は恒例の秋田遠征(ペナルティカップ in 秋田)。山東は、県リーグやプリンスの強豪が参加している 1st Division ではなく、2nd Division への参加。山東のレベルでは 2nd でも十分トレーニングになる。GK が体調不良で欠席したので、FP が代わる代わる GK を務めたが、ゴールキックなど、あまり蹴らずに CB に預けるので、遠征を通じて**ビルドアップの練習にはかなりなった**。また、**攻撃から守備への切り換えの遅さという課題が改めて浮き彫りになった**遠征でもあった。初日・2日目は人工芝、最終日は天然芝で、環境も抜群。山形県との人工芝・天然芝の会場数の違いを改めて感じさせられました。この遠征にも、**佐竹コーチと高橋コーチは仕事をやりくりして参加して下さった**。ありがとうございました。また、お世話になった秋田の皆様、特に事務局を務めている秋田県の専門委員長佳照先生、本当にありがとうございました。

そして、お盆休みを挟んで、**8月19日(土)はY2B第11節山形明正B戦**が行われた(会場明正)。山東は怪我人や体調不良者やらが複数いて、非常に苦しい台所事情。でも、そういうときこそ、普段出場できない選手が経験を積める。チームが一回り大きくなるチャンスでもある。もちろん、守りの時間が長くなることは予想されたが・・・試合が始まると、個で勝てない、動きについていけないのでボール付近で数的優位を作られる、という、**一言で言えばチンチンにされてしまう**。そして、自陣ゴール前でも粘れないし、自陣ゴール前での決定的ミスも多い。**前半だけで10失点**。後半は相手が外した問題もあり、何となく無失点の時間もあったが結局8失点し、**合計0対18の歴史的敗北**。公式戦でこのスコアは初めてです。**1年DFタケハルは対人でも粘り強く、一人気を吐いていた**。あとは、GK、DF、MF、FW すべて大喝のパフォーマンス。もちろん、この点差、この内容は**監督が最大の喝(の対象者)**です。夏を経て、少し成長したところをお見せしたかったですけどね～。翌節は、学校祭最終日に、酒田まで行ってきます。遠方ですが、応援よろしくお願ひします。

8月27日(日) Y2B第12節 羽黒B戦 @酒田市北港緑地グラウンド 12:00～

⁵ 結局その後、新型コロナ陽性と判明。

⁶ ホリゴメくんの宿泊費の負担は、後援会にお願いしたいと考えております。

報告！

6月後半、現在アメリカでご活躍の**OB 阿部天馬くん**(山東 56 回卒)が日本に一時帰国したということで、2、3 回練習に参加してくれました。天馬くんは私の 18 年前の山東赴任と入れ替わりに卒業したので、私と重なっていないのですが、後輩とサッカーしたいと率直におっしゃってくださり、参加となりました。**こういう先輩の練習参加は素直にうれしい！**

そして、天馬くんが練習に参加しているとき、それを聞きつけて彼に用事を預けに来た天馬くんの高校時代の**山東サッカー部元顧問大沼晋先生**が山東グラウンドにいらっしやった。私にとっても、1 年だけ大沼先生と一緒にサッカー部顧問をさせてもらい大変お世話になった大切な方。あだ名は**ヌマシン**⁷。**ヌマシン、山東グラウンドに降臨！** この大沼先生、**現在山形南高校校長**でもある。ある世代の OB は喜ぶニュースです。大沼先生、山南サッカー部の練習にも（おそらく）顔を出していないのに、山東サッカー部の練習に顔を出して下さい、ありがとうございました。下の写真は天馬くん和大沼先生のツーショットです。

7 月後半には、昨年も臨時コーチをお願いした**今村さん**が、今年もコーチをしに来て下さった。昨年はまだスペイン 4 部でプロサッカー選手をされてましたが、今年は日本の**九州産業大学サッカー部**から話があり、選手を引退して帰国し、**ヘッドコーチ**として活躍を始めたとのこと。今村さん、わざわざ山形まで来て下さり、厳しいレベルの山東の選手を指導して下さい、**ありがとうございました。九州でまずはご活躍を！**



⁷ 大沼先生と言っても、現在山形城北校長の大沼元山東サッカー部顧問（通称ヌマセン）とは違います。